

作品に描かれた萩の志士たち(歴史小説)

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
1	青木周蔵 明治外交の創造 青年篇・壮年篇	水沢周	青木周蔵	日本エディタースクール出版部	1988年(昭和63年)	
2	徒花の志士1 小説赤禰武人	指月雅史	赤禰武人	ART JIN PROJECT	2004年(平成16年)	
3	英雄色を好む 小説伊藤博文	南條範夫	伊藤博文	文藝春秋	1990年(平成2年)	「サンデー毎日」 昭和41年6月19日 ～昭和42年4月9日
4	史伝 伊藤博文 上・下	三好徹	伊藤博文	徳間書店	1995年(平成7年)	月刊総合誌「サンサーラ」 平成2年7月号～平成7年2月号
5	小説伊藤博文 青春児 上巻・下巻	童門冬二	伊藤博文	学陽書房	1985年(昭和60年)	「サーチ」
6	伊藤博文 近代国家を創り上げた宰相	羽生道英	伊藤博文	PHP研究所	2004年(平成16年)	文庫書おろし
7	明治の宰相	杉森久英	伊藤博文	文藝春秋	1969年(昭和44年)	昭和43年4月～同10月 「日本経済新聞」
8	明治の宰相 —伊藤博文伝—	杉森久英	伊藤博文	角川書店	1976年(昭和51年)	
9	青年	林房雄	伊藤博文 井上馨	中央公論社	1934年(昭和9年)	「中央公論」 昭和7年8月～同12月
10	鬼謀の人	司馬遼太郎	大村益次郎	新潮社	1971年(昭和46年)	
11	花神 (1)(2)(3)	司馬遼太郎	大村益次郎	新潮社	1972年(昭和47年)	
12	明治の武人宰相 桂太郎の人生 山河ありき	古川薫	桂太郎	文藝春秋	2002年(平成14年)	書きおろし
13	伊藤痴遊全集 第3巻 木戸孝允	伊藤仁太郎	木戸孝允	平凡社	1930年(昭和5年)	
14	伊藤痴遊全集 第14巻 木戸孝允 續篇	伊藤仁太郎	木戸孝允	平凡社	1930年(昭和5年)	
15	伊藤痴遊全集 第18巻 西郷南洲 終篇 木戸孝允 終篇	伊藤仁太郎	木戸孝允	平凡社	1930年(昭和5年)	
16	炎と青雲 木戸孝允篇	古川薫	木戸孝允	文藝春秋	1978年(昭和53年)	毎日新聞西部版 昭和52年10月11日 ～昭和53年5月30日
17	炎と青雲 桂小五郎篇	古川薫	木戸孝允	文藝春秋	1977年(昭和52年)	毎日新聞西部版 昭和52年2月1日～同9月16日

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
18	醒めた炎 一木戸孝允 上巻・下巻	村松剛	木戸孝允	中央公論社	1987年(昭和62年)	「日本経済新聞」(日曜版) 上 昭和54年5月6日 ～昭和58年1月30日 下 昭和58年2月6日 ～昭和62年2月22日
19	西国の城 上巻 秋月城 佐賀城 萩城 他 (萩城 古川薫)	古川薫	熊谷元直	講談社	1975年(昭和50年)	西日本新聞 昭和49年2月2日 ～昭和50年3月29日 「西国の城シリーズ」として掲載
20	討賊始末 (討賊始末)(橋を渡ってくる灯) (横死の周辺)(塞翁の虹)(女体蔵志) (走狗)	古川薫	栗山孝庵	エルム	1975年(昭和50年)	『討賊始末』「狼群」1号 『橋を渡ってくる灯』「狼群」5号 『横死の周辺』「狼群」3号 『塞翁の虹』「狼群」4号 『女体蔵志』「午後」20号 『走狗』「午後」10号
21	松下村塾の人々 青春の巻・風雲の巻	池上義一	高杉晋作	潮出版社	1973年(昭和48年)	
22	高杉晋作 上・下	池宮彰一郎	高杉晋作	講談社	1994年(平成6年)	「季刊歴史ピープル」創刊号 平成6年9月～
23	高杉晋作 (黎明篇)	尾崎士郎	高杉晋作	新潮社	1943年(昭和18年)	
24	高杉晋作	海音寺潮五郎	高杉晋作	アカツキ書店	1941年(昭和16年)	
25	回天の風雲児 高杉晋作	品川義介	高杉晋作	大東亜書房	1942年(昭和17年)	
26	回天の奇襲 高杉晋作	霜月一生	高杉晋作	叢文社	1992年(平成4年)	
27	長州維新風雲録 奔れ晋作!	榛葉英治	高杉晋作	日本経済新聞社	1990年(平成2年)	
28	高杉晋作の生涯	杉田幸三	高杉晋作	おりじん書房	1974年(昭和49年)	
29	長編歴史小説 三千世界の烏を殺し 高杉晋作と妻政子	竹田真砂子	高杉晋作	祥伝社	1991年(平成3年)	
30	梅の花咲く 決断の人・高杉晋作	田中秀征	高杉晋作	講談社	2001年(平成13年)	
31	城下の少年	南條範夫	高杉晋作	中央公論社	1975年(昭和50年)	昭和38年「小説中央公論」
32	天翔ける若鷲	南條範夫	高杉晋作	PHP研究社	1978年(昭和53年)	

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
33	少年行	南條範夫	高杉晋作	講談社	1992年(平成4年)	
34	わが風雲の詩 (上)(下)	古川薫	高杉晋作	文藝春秋	1991年(平成3年)	「スポーツニッポン」西部版 平成元年12月20日 ～平成2年12月21日 『発すれば風雨』改題
35	夢魂独り飛ぶ 小説高杉晋作 (栄光は遠きにあり)(夢魂独り飛ぶ) (疾風来る去る)(発すれば風雨) (命なりけり晋作様)	古川薫	高杉晋作	講談社	1986年(昭和61年)	『栄光は遠きにあり』書下ろし 『夢魂独り飛ぶ』 「小説現代」昭和57年12月号 『疾風来る去る』書き下ろし 『発すれば風雨』 「小説現代」昭和60年7月号 『命なりけり晋作様』 「小説現代」昭和58年6月号
36	時代を動かした人々2 維新篇 走れ！若き獅子 高杉晋作	古川薫	高杉晋作	小峰書店	2000年(平成12年)	
37	嵐の中の日本人シリーズ⑫ 高杉晋作	松永義弘	高杉晋作	あかね書房	1991年(平成3年)	
38	書きおろし歴史小説シリーズ 高杉晋作	三好徹	高杉晋作	学習研究社	1989年(平成元年)	書きおろし
39	山岡荘八歴史文庫77・78・79 高杉晋作(1)(2)(3)	山岡荘八	高杉晋作	講談社	1986年(昭和61年)	
40	高杉晋作	吉村康	高杉晋作	東邦出版社	1974年(昭和49年)	
41	高杉晋作	渡邊霞亨	高杉晋作	近代文藝社	1927年(昭和2年)	
42	晋作拳兵す	野中信二	高杉晋作	叢文社	1996年(平成8年)	
43	疾走の志士 高杉晋作	童門冬二	高杉晋作	KKベストセラーズ	2002年(平成14年)	
44	静寂の声 乃木希典夫妻の生涯 上・下	渡辺淳一	乃木希典	文藝春秋	1988年(昭和63年)	
45	軍神	古川薫	乃木希典	角川書店	1996年(平成8年)	「野性時代」 平成7年8月号～平成8年2月号
46	獅子の廊下	古川薫	椋梨藤太	文藝春秋	1978年(昭和53年)	「山口新聞」昭和45年頃 『椋梨藤太覚え書き』 雑誌「九州人」100号『巨魁』
47	経営参謀 村田清風	霜月一生	村田清風	叢文社	1989年(平成元年)	

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
48	義なくば立たず 幕末の行財政改革者・村田清風	真鍋繁樹	村田清風	講談社	1996年(平成8年)	「ニューリーダー」誌 平成6年10月号 ～平成8年2月号
49	毛利一族	古川薫	毛利	文藝春秋	1997年(平成9年)	『二の丸様誘拐』 「別冊文藝春秋」平成7年212号 『陰謀の山河』 「別冊文藝春秋」平成元年春号 『沼城の桜』 「オール讀物」平成3年2月号 『老将』 「オール讀物」平成8年12月号 『暁の霜』 「オール讀物」平成9年2月号
50	若き日の毛利元就	伊藤正一	毛利元就	叢文社	1990年(平成2年)	
51	毛利元就	榊山潤	毛利元就	叢文社	1984年(昭和59年)	
52	続・毛利元就	榊山潤	毛利元就	叢文社	1984年(昭和59年)	
53	山霧 毛利元就の妻 上・下	永井路子	毛利元就	文藝春秋	1992年(平成4年)	「秋田魁新報」他数紙 昭和60年9月2日 ～昭和61年6月29日
54	新潮書下ろし時代小説 覇道の鷲 毛利元就	古川薫	毛利元就	新潮社	1990年(平成2年)	書きおろし
55	山岡莊八歴史文庫49・50 毛利元就(1)(2)	山岡莊八	毛利元就	講談社	1995年(平成7年)	
56	元就、そして女たち	永井路子	毛利元就	中央公論社	1996年(平成8年)	「婦人公論」 平成8年6月号～平成8年10月号
57	毛利元就 上・中・下	内館牧子	毛利元就	日本放送出版協会	1996年(平成8年)	
58	元就軍記 上・下	桜田晋也	毛利元就	徳間書店	1996年(平成8年)	
59	天の剣毛利元就	神川武利	毛利元就	叢文社	1996年(平成8年)	
60	国を傾けた男毛利輝元の生涯 傾国の烙印	池田平太郎	毛利輝元	文芸社	2004年(平成16年)	
61	長州の密偵 森寛齋 知られざる勤王の画家	神力要	森寛齋	東京経済	2000年(平成12年)	
62	伊藤痴遊全集 續 第6巻 山縣有朋 板垣退助	伊藤仁太郎	山縣有朋	平凡社	1931年(昭和6年)	

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
63	中江兆民と山県有朋 自由民権&絶対主義の設計	村島昭男	山縣有朋	光陽出版社	2004年(平成16年)	
64	山県狂介	青木孝	山県狂介	中央公論社	1973年(昭和48年)	
65	志士の肖像 上・下	早乙女貢	山田顕義	東京新聞出版局	1989年(平成元年)	東京新聞/中日新聞/ 北陸中日新聞/北海道新聞/ 西日本新聞連載
66	小ナポレオン山田顕義 剣と法典	古川薫	山田顕義	文藝春秋	1994年(平成6年)	
67	後生畏るべし	もりたなるお	山田顕義	講談社	1989年(平成元年)	「日本大学新聞」の「あしたの萩」 昭和54年～平成元年7月完了
68	殉國の人 吉田松陰	池田宣政	吉田松陰	偕成社	1942年(昭和17年)	
69	嵐の中の日本人シリーズ⑩ 吉田松陰	一条明	吉田松陰	あかね書房	1992年(平成4年)	
70	小説 吉田松陰 人間の旗 上巻 下巻	大林しげる	吉田松陰	潮出版社	1987年(昭和62年)	
71	海音寺潮五郎全集 第二十巻 幕末動乱の男たち	海音寺潮五郎	吉田松陰	朝日新聞社	1971年(昭和46年)	「小説新潮」※幕末動乱の男たち 昭和42年2月～43年2月
72	時代の明星(吉田松陰)	豊島興志雄	吉田松陰	三學書房	1943年(昭和18年)	
73	吉田松陰	中里介山	吉田松陰	白揚社	1925年(大正14年)	
74	吉田松陰	中里介山 (中里彌之助)	吉田松陰	春秋社松柏館	1943年(昭和18年)	
75	維新の烈風 吉田松陰と高杉晋作	古川薫	吉田松陰 高杉晋作	徳間書店	1990年(平成2年)	単行本「維新の烈風」(昭和52年小 峰書店刊)及び 「松下村塾」(昭和54年偕成社刊) を合わせ加筆、訂正
76	留魂の翼 吉田松陰の愛と死	古川薫	吉田松陰	中央公論社	1995年(平成7年)	「小説中央公論」 平成5年2月号～平成6年12月号
77	吉田松陰の恋	古川薫	吉田松陰	文藝春秋	1986年(昭和61年)	単行本「野山獄相聞抄」改題 昭和56年3月文藝春秋刊
78	歴史小説シリーズ5 松下村塾 吉田松陰と門弟たち	古川薫	吉田松陰	偕成社	1979年(昭和54年)	
79	歴史ロマンブックス② 翔べ、わが志士たち 吉田松陰	古川薫	吉田松陰	創隆社	1983年(昭和58年)	
80	吉田松陰附録松陰遺稿	碧瑠璃園	吉田松陰	大鏡閣	1920年(大正9年)	

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
81	吉田松陰 前編後編合本	碧瑠璃園	吉田松陰	梁江堂書店	1915年(大正4年)	
82	暁闇の踏海 吉田松陰密航顛末	森友幸照	吉田松陰	創知社	1982年(昭和57年)	
83	書きおろし歴史小説シリーズ 吉田松陰	山岡荘八	吉田松陰	学習研究社	1974年(昭和49年)	書きおろし
84	歴史小説ベストセラーズ 吉田松陰	山田克郎	吉田松陰	鶴書房		
85	吉田松陰 上・下	童門冬二	吉田松陰	学陽書房	2001年(平成13年)	修養誌「致知」
86	五稜郭を落した男	秋山香乃	吉田松陰 久坂玄瑞	文芸社	2004年(平成16年)	
87	松陰と晋作 その一 新装維新十傑 第十卷	伊藤仁太郎	吉田松陰 高杉晋作	平凡社	1941年(昭和16年)	
88	野山獄相聞抄	古川薫	吉田松陰他	文藝春秋	1981年(昭和56年)	『野山獄相聞抄』 「別冊文藝春秋」昭和53年144号 『見事な御最期』 「別冊文藝春秋」昭和55年154号 『お絹と男たち』 「オール讀物」昭和51年1月号 『後裔たちの海程』 「歴史と文学」昭和50年13号 『刀痕記』 「オール讀物」昭和55年7月号
89	松陰と晋作 維新の夜明けを戦った師弟	古川薫	吉田松陰 高杉晋作	学陽書房	2004年(平成16年)	文庫本「維新の烈風」 (平成2年徳間書店刊)に加筆
90	遠雷と怒濤と	湯郷将和		日本放送出版協会	1982年(昭和57年)	「放送文化」昭和56年5月～6月
91	長篇小説 勤皇士魂	足立直郎		大果書房	1944年(昭和19年)	
92	世に棲む日日 一・二・三	司馬遼太郎		文藝春秋	1983年(昭和58年)	
93	立志美談青空を見つめて	原田指月		甲子書院		

NO	書名	著者	中心に描かれている人物	出版社	出版年	初出
94	奇謀の島	古川薫		新人物往来社	1996年(平成8年)	『影武者』 「時代小説大全」平成8年秋号 『奇謀の島』 「別冊歴史読本」 平成6年7月特別増刊号 『遠雷』 小説NON平成8年8月号 『鯨波海峡を揺がす』 「西国の城」所収 (昭和50年10月講談社刊) 『武者の十字架』 「時代小説大全」平成5年冬号
95	流れるを斬る (萩城下贗札殺人事件)	古川薫		毎日新聞社	1989年(平成元年)	S51、7月歴史読本
96	十三人の修羅	古川薫		講談社	1977年(昭和52年)	
97	大改革 長州藩起つ	童門冬二		日本経済新聞社	1999年(平成11年)	
98	長州藩大改革 幕末維新の群像	童門冬二		学陽書房	2004年(平成16年)	単行本「大改革 長州藩起つ」 (平成11年日本経済新聞社刊)